

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
使用年数											
お客様による日常のお手入れ・点検											
▲ 取付 日	消耗部品の交換（パッキン等）										
					買い替え ご検討						
					磨耗劣化部品の交換						
補修用部品の供給期間		この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。 なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合わせください。									

部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。

磨耗・劣化部品（水栓の種類によって異なります）

例) ヘッドパーツ、口金（整流器・エアレーター）

部品の交換については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、または弊社サービス課に修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料” + “出張料” + “部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- | | | |
|-----------------|---------------|-----------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番（取扱説明書に表示） |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問日 |

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエジャパン株式会社サービス課
03-3298-9683

受付時間 平日 9:30~17:30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24時間（受付のみ）

§保証書§

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。下記の保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。
※取り付け日・取扱店の欄に記載の無い場合は、無効になります。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。
- 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご移居・ご贈答品などで、本書を記載の取扱店に修理をご依頼できない場合、当社サービス課にご相談ください。
- 保証期間内でも以下の場合、有償修理とさせていただきます。
 - (1) 使用・維持保管上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
 - (2) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
 - (3) お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
 - (4) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
 - (5) 消耗部品の劣化に伴う故障の損傷
 - (6) 本書の提示がない場合
 - (7) 本書に取付日・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間	： 取付日より2年	取扱店（店名・住所・TEL）
取付日	： 年月日	

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル

TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811

大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興ビル

TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHEJAPAN ホームページ

<http://www.grohe.co.jp>



保証書付

シャワーパイプ栓取扱説明書 (お客様用)

機種名	一般地用品番	寒冷地用品番
レインシャワー付	27030000	
カップリング式	2703100J	
切り替え式	2708900J	
切り替え式ユーフォリア	2742100J	
切り替え式ユーフォリア	FG27421	

工事店さまへのお願い

この取扱説明書は、貴店名ならびに取付日を
保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。

- このたびは、GROHE 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保証書付ですのでお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	3
ご使用前に	3
ご使用方法	4
寒冷地にて使用する場合	5
お手入れの方法	5
定期的な点検	6
故障かな?と思ったら(修理を依頼される前に)	6
定期的な部品交換	7
アフターサービスについて	7
保証書	7

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

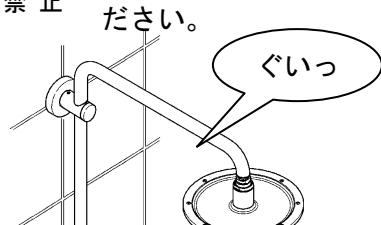
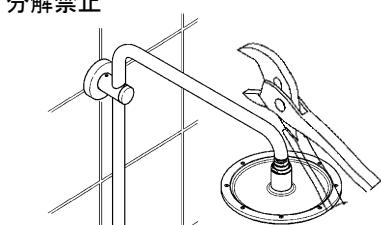
表示	意味
△注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

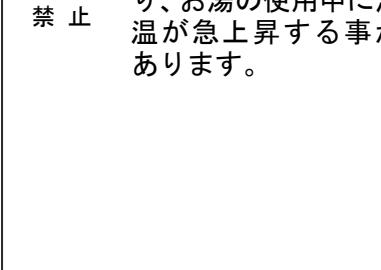
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

△注意

 禁止 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。  器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	 分解禁止 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。  器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	 接触禁止 高温の湯をお使いのときにはホースは高温になっています。直接肌を触れないでください。  やけどするおそれがあります。
--	---	--

 禁止 シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。  落としたり、ぶつけたりすると破損の原因になります。	 禁止 シャワーヘッドは熱湯(60°C以上)を通さないでください。  破損、変形、変色の原因になります。	 禁止 他所との同時使用により圧力変動が起り、お湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。  やけどするおそれがあります。
---	---	--

△注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

●配管まわりの水漏れ（1ヶ月に1回程度）

◎配管まわりの水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

●水栓のガタツキ（1ヶ月に1回程度）

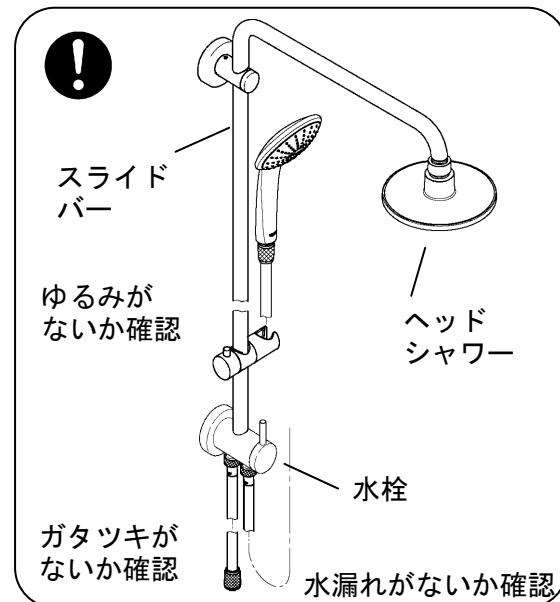
◎水栓のガタツキがないか確認してください。

ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●スライドバー、ヘッドシャワーのゆるみ（1ヶ月に1回程度）

◎スライドバー、ヘッドシャワーのゆるみがないか確認してください。

ゆるんだままお使いになると、水漏れの原因になり、ケガをするおそれがあります。



故障かな？と思ったら (修理を依頼される前に)

このようないき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミがシャワー散水穴、ストレーナにたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1) シャワー散水穴、ストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 ※ 「散水穴の清掃」「ストレーナの清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがストレーナにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	(1) 上記同様、ストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 (2) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。※ご使用温度+10°C以上にしてください。 (3) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側いっぱいの位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側いっぱいの位置に合わせて吐出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音がする	⑥水の圧力（勢い）が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● ハンドシャワーの切り替えができない	⑦ユニオンが接続されていない。	販売店、取付工事店に連絡してユニオンを取り付けてもらう。
● シャワーヘッドから止水後水滴が若干滴下する	⑧シャワーヘッドの構造上発生することなので故障ではありません。	気になるようでしたらシャワーヘッドを振って、よく水を切ってからシャワーフックに納めてください。
● 散水が頭に当たらない	⑨アームの調整が適切でない。	据付説明書の「アームの位置調整、固定」をご参照ください。
● スライドバー自体がぐらつく	⑩取付ビス、固定ビスがゆるんでいる。	販売店、取付工事店に連絡してスライドバーをきちんと施工してもらう。
● フックを可変するとギイギイ音がする	⑪構造上発生するおそれがあります	グリスもしくはリンス等で滑りを良くする。
● シャワー、吐水の切り替えが完全にできない	⑫内部切換弁にゴミが付着または破損している	販売店、取付工事店に連絡して切換弁を洗浄、または交換する。

※上記処置で故障が直らない場合は、販売店、取付工事店または当社サービス課へご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、器具の水抜きをしてください。

1. 逆止弁の取り外し

27030000、2703100J

①カッピングのスナップボタンを同時に両側から押しながら引き抜いてください。

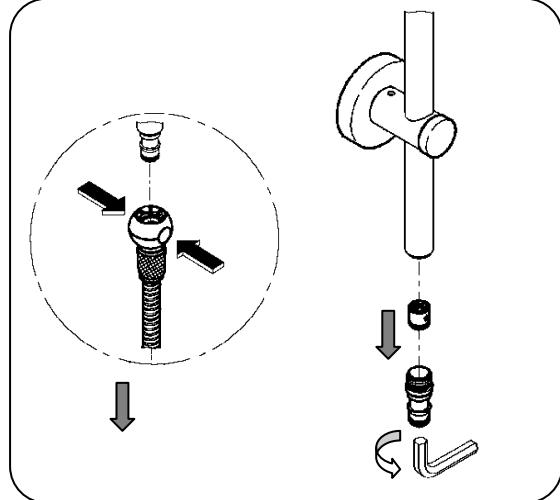
②ニップルを8mm六角レンチで取り外してください。

③スライドバー内部の逆止弁を取り外してください。

※水抜き操作後は必ず元に戻してください。

※ホース内の水を排水に流し、シャワー内部の水をできるだけ抜いてください。

※冬期、器具内部の水が凍結すると、部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。



2742100J、2708900J、FG27421

①ホースの袋ナットを手もしくはプライヤー等で左回しに取り外してください。

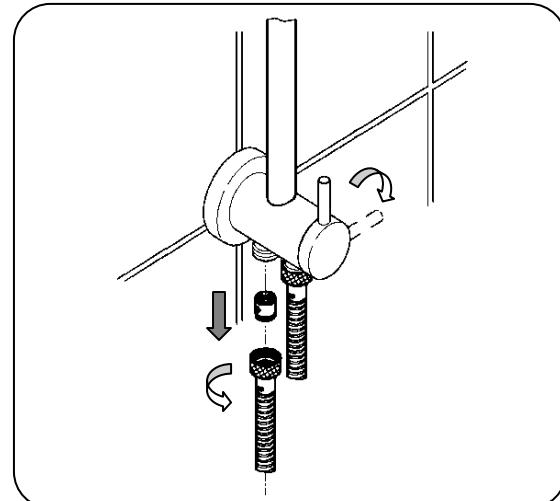
②ホルダー内部の逆止弁を取り外してください。

③切換レバーを右に回して、ハンドシャワー側の水を抜いてください。

※水抜き操作後は必ず元に戻してください。

※ホース内の水を排水に流し、シャワー内部の水をできるだけ抜いてください。

※冬期、器具内部の水が凍結すると、部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。

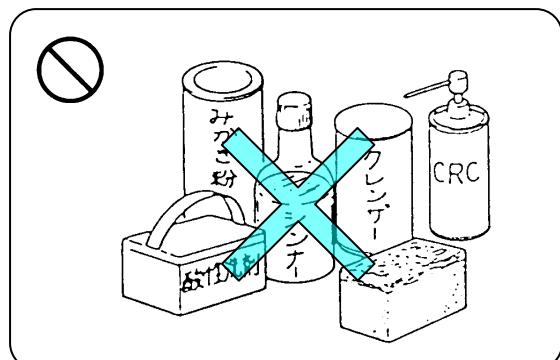


お手入れの方法

◆汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。その後水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

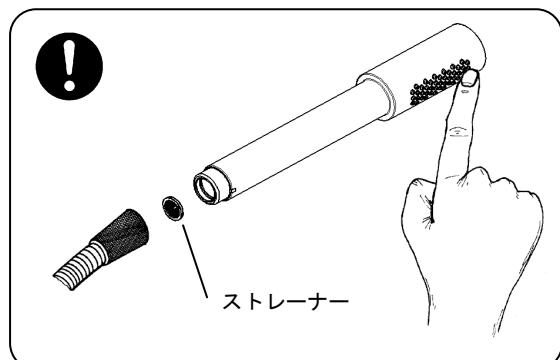


◆散水穴の清掃

シャワー散水穴のゴミ詰りは機能を低下させます。ときどき次の要領で清掃してください。

● 散水穴（灰色のゴム状突起）を指で軽く撫でる

※新品時にはグリス等が付着している事があります。必ず1度は撫でてください。



◆ストレーナーの清掃

ストレーナーのゴミ詰りは機能を低下させます。流量が少ないと感じましたら、以下の方法で清掃してください。

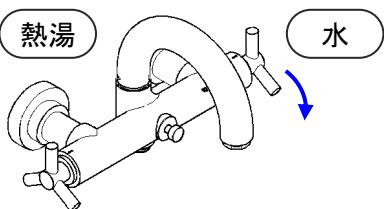
- ① 水栓金具を操作して止水状態にしてください。
- ② ハンドシャワーのユニオンを手でゆるめてください。
- ③ ハンドシャワーよりストレーナーを取り外してください。
- ④ ストレーナーのゴミを取り除いてください。

※作業前は止水栓を閉めて、開けるときには必ず組み立てを完了しておいてください。

⚠ 注意



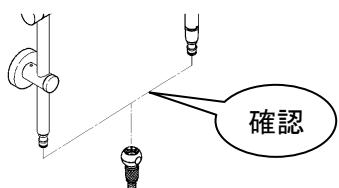
高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。



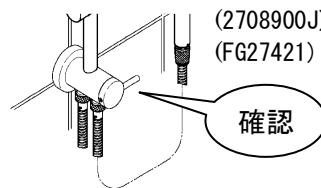
お使いになる前に、ホースがどちらに接続してあるか確認した後で湯をお使いください。
(2703000, 2703100J)



ヘッドシャワーとハンドシャワーを間違うとやけどするおそれがあります。



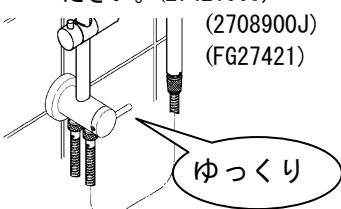
お使いになる前に、ヘッドシャワー側かハンドシャワー側かを切換弁で確認してから湯をお使いください。
(2742100J)



ヘッドシャワーとハンドシャワー



切換ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
(2742100J)



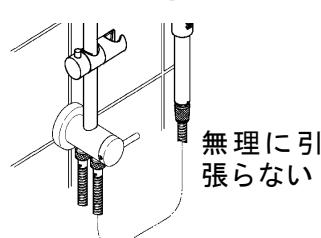
シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。



高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



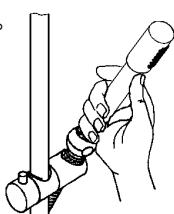
ホースを乱暴に扱うと破損や事故を起こすことがありますので、余裕を持たせてお使いください。



破損・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。



給水圧が高い地域でご使用の時は、確実に手などで支持してご使用ください。



ハンドシャワーが暴れたり、フックから落下してケガをするおそれがあります。

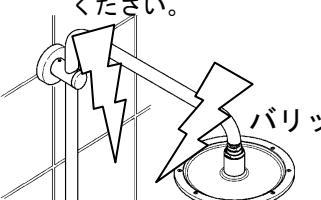


ストレーナの清掃をする際は、水栓本体の開閉ハンドルを閉めてから行ってください。

湯水が噴き出て、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



商品の改造・仕様変更は絶対にしないでください。

禁 止

事故の原因となります。



禁 止

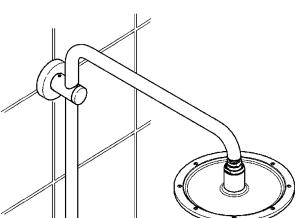
2ハンドル・シングルレバー混合栓とセットで使用される場合、給湯機の給湯温度は、42°Cより高温で使用しないでください。

やけどするおそれがあります。



禁 止

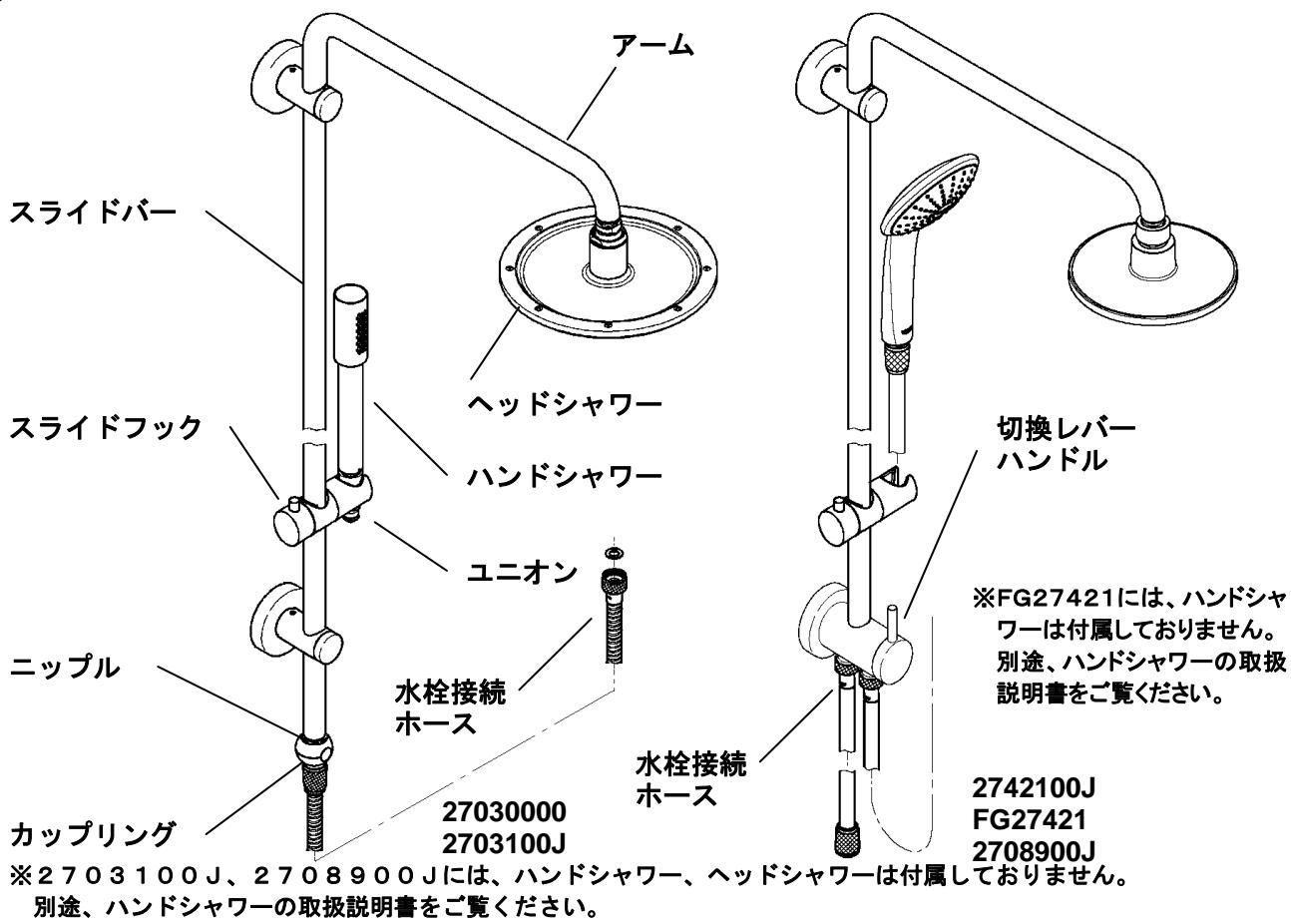
アームの首振り操作はできません。乱暴に扱うとゆるみを起こすことがありますので、首振り操作はしないでください。



けがをするおそれがあります。

各部の名称

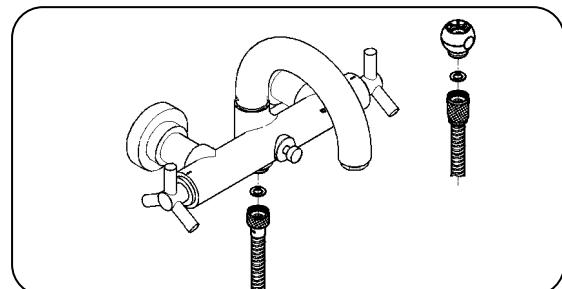
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



ご使用前に

●当製品のみだけでの使用は出来ませんので、必ず別途水栓の取扱説明書もお読み下さい。

※図は2ハンドル混合水栓ですが、他の水栓についても同様です。



ご使用方法

2742100J、2708900J、FG27421

1. 切換レバーハンドル

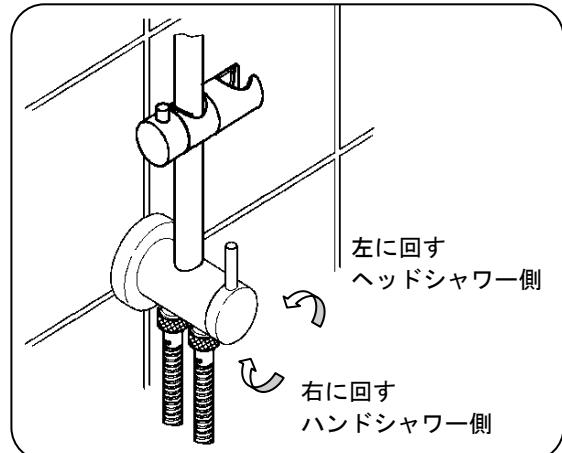
●ヘッド、ハンドシャワー

2ハンドル、混合栓用の2方切換弁になります。

切換表示は固定シャワー、吐水口が目安になっております。

- 左に回して → ヘッドシャワー側
- 右に回して → ハンドシャワー側

※約90°で切り替わります。



ご使用方法

2703100J、27030000

2. ヘッドシャワー

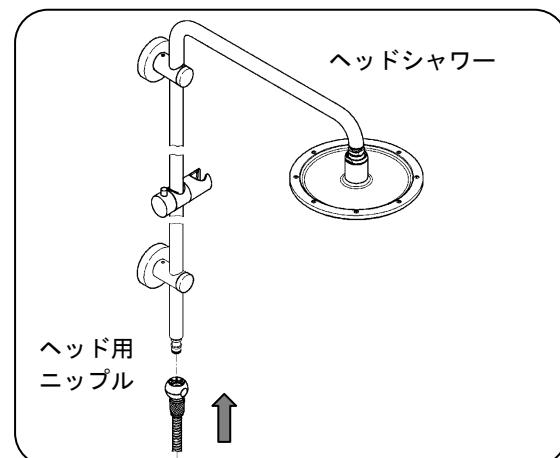
●レインシャワー

ヘッドシャワー用ニップルにホースのカップリングを差し込んでください。

- カップリングを差し込んで → ヘッドシャワー

※カップリングを取り外すときは、スナップボタンを同時に両側から押しながら引き抜いてください。

※別途購入したヘッドシャワーの場合は、あわせて別途説明書をご覧ください。



3. ハンドシャワー

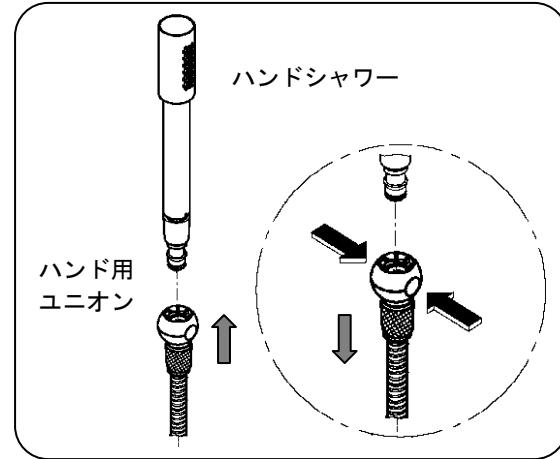
●セナシャワー

ハンドシャワー用ユニオンにホースのカップリングを差し込んでください。

- カップリングを差し変えて → ハンドシャワー

※カップリングを取り外すときは、スナップボタンを同時に両側から押しながら引き抜いてください。

※既存のハンドシャワーもしくは別途購入したハンドシャワーの場合は、あわせて別途説明書をご覧ください。



2742100J、2708900J、2703100J、27030000、FG27421

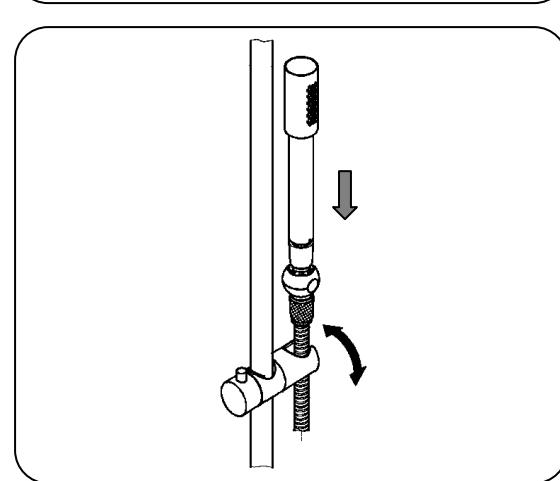
4. スライドフック

●角度調整

ハンドシャワーのグリップ部を持って、回転させることにより任意に角度を変えられます。

- シャワーを差し込んで → 任意に回してください

※シャワーを差し込む時、回す時は無理な力は加えないでください。



●上下移動、左右の回転

スライドフックのハンドルをゆるめて、上下・左右に操作が可能です。

- ハンドルを左に回して → 上下・左右に動きます
- ハンドルを右に回して → 固定となります

※ハンドルの小さいレバーは、固定位置を示すものではありません。ネジになっておりますのでハンドルを固定した際は、手前に向いたり、後方になる場合もあります。

